

石と町とアタシと

～あきねえ便り～ 11月号

11月です！朝夕の冷え込みが厳しくなってきました。この時期の墓地での作業は、気温の変化との戦いです。日差しが強かったり、風が強くと耳がもげそうになったり。日が落ちるのが早くなることも辛いですね。気がつくと真っ暗な墓地でポツン…周りをみると、いないはずの人影が沢山見えたりして…(*_*)!!

こんにちは！アタシあきねえです♪

父を亡くした時、お寺のご住職に言われた言葉がきっかけになり、銀行員を辞めて「石材ケア」の道に。太い腕と、頑丈な体を武器に(!?)お墓の汚れと向き合う毎日を過ごしています。

◆◆今月のピックアップ サビ◆◆

洗剤で洗っただけでは簡単に落ちないサビ。サビには、もらいサビと、石から出てくるサビがあります。その除去にはサビ抜き剤が効果的ですが、石種によっては使用が難しく、逆にトラブルを引き起こすこともあります。今回は、環境による石への影響(サビの発生)と、しつこいもらいサビの例を取り上げました。

やて、十月の案件です。

十月はお陰さまでほとんどお休みのない忙しい月になりました。(嬉涙?)



左の写真だけでは、わかりにくいと思いますが、その墓所の環境や状況で、ある程度汚れの種類は想定可能です。この地域は、江戸時代から鋳物業で発展してきた準工業地帯です。そんな環境から、黒ブシとサビの複合汚染と想定できます。

例えば、線路脇のお墓の黄ばみ、常に水を使用する噴水等の変色、鉄柵を使用した外柵のサビ色、缶などを置いて付いた輪っかなど、これらは石の表面に付着したサビで、比較的除去しやすいものです。しかし、石自体が持つ鉄分が、水や空気に触れて変色したサビは、意外と深い場合があり、完全に除去するのは技術を要します。「じぎゃー」と思ったら、まずはたけしよつまでご相談くださいね♪



カビや泥を落としたり繰り返しサビと黒ブシを洗い流しました!

施工前

後ろ



こんなにスッキリ! 石屋さんも満足してくれました!(^o^)/



窪みほど劣化した部分に浸み込んだ汚れ、黄ばみ、分厚い黒ブシ...

施工前

後ろ



外柵の後ろは特に汚れがきつくと真っ黒! アタシ落とせるの?(!)



施工後

見違えるように明るくすっきり! しつこいサビよりもしつこいあきねえでした♪



施工前

この階段のサビは鎖からのサビ汁を吸い込んだものでしょう。こつこつ付着していました(汗)

TakeShoコミュニケーションズ株式会社
〒338-0824 さいたま市桜区上大久保 9-16
TEL 048-699-9731 FAX 048-699-9730

インフルエンザは気合いと根性で吹き飛ばそう! (◎◎)ノ! うがい手洗いも忘れずに♪



あきねえ、真壁小目の丁場へ行く!

↓珍しいトラックに大喜び!



10/21、埼玉石材業協会青年部の定例会があり、茨城県桜川市(旧真壁町)に行ってきました! 丁場へ行くのは大谷に続き 2 度目。なんか、血が騒ぎます…発破をかける瞬間は、超興奮!! ドンッ!! 山から切り出されたばかりの石は、初めて触れた空気と陽の光にキラキラと輝いていました♪ (*・^*)



彫刻...
字彫りは初めて見ました! 大きな機械の中に手を突っ込んで微妙な操作をしています!



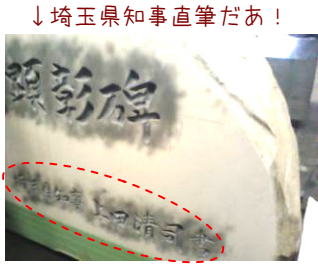
加工場...
コレ! ひとつの石の塊から、芝台からサオまでの部品全部一体型のお墓を切り出してるんです!



丁場...
コリヤ圧巻! 山が割れていて、全部石だ!! 上と下では目や色合いが違うのか、キレイな部分を慎重に切り出している様子が見えます。Nさんが「地球からの贈り物」って感じがするって。さすが、カッコいいこと言うね~♪



↑全体重かけ黒御影を磨いてる! 仕上げはやはり職人技?



↓埼玉県知事直筆だあ!

【埼玉石材業協会青年部】
たけしょうは、準会員として定例会などに参加しています! 「次世代の石材業界を支えていくため、厳しい時代の要請への対応と、新技術の研究に日々取り組んでいく」ことを目標とした集団です♪ みんなおもしろくて仲がいいです! 会員募集中! 来年の企画『石あかり』に参加しませんか? <http://www.itland.co.jp/~isiya/>